



毎晩 8 時からロザリオを共に祈りましょう

主任司祭 和越 敏

＋主の平和

私たちを含めて世界中が新型コロナウイルス感染症に襲われています。日常生活も信仰生活も大きな影響を受け、諸々の活動・集まりが中止され延期されています。皆さんの中の多くの方々が不自由な生活、また辛い思いをしていることと思います。心よりお見舞いを申し上げます。

仁川修道院の私たちはおかげさまで元気に日々を過ごしています。毎日のミサと教会の祈り、ロザリオの中で、皆さんのことを思い、皆さんのために、皆さんと共に祈っています。そして、祈ってくださる皆さん、また多くのことを通して共にいて守り支えてくださる神様に感謝しています。

改めて人間の小ささや命の尊さを感じさせられます。この気づきから、聖母マリアと諸聖人の取次によってキリストを中心にしてすべての兄弟姉妹の皆さんともっとつながっていきたくと思っています。

さて、皆さんもご存知のように、教会が伝統的に聖母マリアに捧げる5月が始まりました。母としての聖母マリアの仲介によって神の恵みを受け取ることができます。聖マキシミリアノ・マリア・コルベが「聖母を通してイエスへ」と生きたように、聖母マリアは私たちの力であり寄り頼む方です。必ず神の前に取り次いでくださいます。

緊急事態宣言に対して、私たちも外出を控えて家の中で過ごし、教会でミサ・ロザリオの祈りを共にすることができなくなっています。しかし、この時こそ、聖母マリアへの信によっていつもより家族と他者と生きる機会となるのではないのでしょうか。心を合わせてロザリオの祈りを共にし、デジタル機器を使って、置かれた場所から他人につながり、他人を訪ねることもできるでしょう。

このようにして、教皇フランシスコは4月25日付で全世界の信徒の私たちに手紙を送ってくださいました。教皇様の意向を心に留めて祈っていきましょう。その手紙の中で、教皇は家庭においてロザリオを唱えることを再発見するように招かれ、また、パンデミックの終息と、最も苦しむ兄弟姉妹を聖母が守ってくださるように願い続けるよう招いています。

教皇フランシスコの意向に従い、また小教区のきずなを深めるために、主任司祭としての私は仁川小教区の皆さんにお願いします。

5月中の毎晩8時からロザリオを共に祈りましょう。

ロザリオの結びの祈りとしては、教皇フランシスコの用意してくださった「マリアへの祈り①」か「マリアへの祈り②」を唱えたら良いと思います。

私は皆さんのために、皆さんと心を合わせて祈ります。どうぞ、私のためにも祈ってください。感謝と祈りを込めて心から皆さんに祝福を送ります。

2020年5月2日 初土曜日に